

別記

1. かよいのエリア

(1) 警備内容

①防犯サービス

侵入異常を受信したときは、遅滞なく緊急要員を急行させ、異常事態の内容を確認し事態の拡大防止に必要な処置をとる。

また、必要と認めたときは警察機関に連絡し、緊急出動を要請する。

非常事態が発生した場合には、発注者に緊急連絡を行い、現場確認の要請などを行う。

②火災監視サービス

火災異常を受信したときは、遅滞なく原因を確認し、火災発生と判断したときは直ちに消防機関に通報し緊急出動を要請するものとし、同時に緊急要員を現場に急行させ、必要な処置をとる。

(2) セキュリティ商品

セキュリティ商品の設置場所は、配置図及び平面図を参考に、受注者が設計し、発注者の承認を得るものとする。

(3) オートドア制御システム

①正面出入口自動ドアにて屋外からの入館制御を行うものとする。

②警備解除時は ID カードまたは暗証番号操作で外部より開錠できるものとし、任意に設定できるスケジュール機能を有するものとする。

③スケジュール機能により、制御なしの時間帯を設けることができるものとする。

また、設定等の変更は、発注者の準備するパソコンで発注者自身に変更できるか、発注者からの依頼で受注者が行うものとする。

④インターホンのカメラ付玄関子機を正面入口外部に設け、事務室内にモニター付親機（壁掛け）及びモニター付ワイヤレス子機を設け、両方ともにインターホンでの来訪者確認及び自動ドアの開錠を行えるものとする。

(4) インターホンシステム

①カメラ付玄関子機

②モニター付親機（壁掛け、SD カード入力あり）

③モニター付ワイヤレス子機

(5) 防犯カメラシステム

- ①カメラ台数 11台 (屋外5台・屋内6台)
- ②有効画素数 約400万画素以上
- ③遠隔での画角、ピント調整機能があること
- ④赤外線照射距離：最大約20m以上

(6) デジタルレコーダー

- ①映像信号 AHDに対応すること
- ②記憶媒体 内臓HDD4TB以上
- ③録画モード 連続/モーション/スケジュール/緊急の録画設定があること
- ④カメラ毎に画質・フレーム数の設定が可能であること
- ⑤録画データをUSBメモリにコピーが可能であること
- ⑥ビデオロストの異常信号を警備監視可能であること

(7) モニター

- ①21.5型以上のワイド液晶モニターで設置は壁掛けとする

2. すまいのエリア

(1) 警備内容

①非常通報監視サービス

異常事態発生時に非常ボタン操作をすることにより、遅滞なく緊急要員を急行させるとともに、物件へ電話連絡し異常事態の内容確認を行う。
その結果、異常事態発生と判断したときは、警察機関に連絡し、緊急出動を要請する。

※非常ボタンは、固定型×1、ペンダント型×2とし、対象エリア内で所持できるものとする。

②火災監視サービス

火災異常を受信したときは、遅滞なく原因を確認し、火災発生と判断したときは直ちに消防機関に通報し緊急出動を要請するものとし、同時に緊急要員を現場に急行させ、必要な処置をとる。

(2) セキュリティ商品

セキュリティ商品の設置場所は、配置図及び平面図を参考に、受注者が設計

し、発注者の承認を得るものとする。

(3) オートドア制御システム (母子)

- ①正面出入口風除室自動ドアにて屋外・屋内からの入退館制御を行う。
- ②入館時はIDカードまたは暗証番号操作で外部より開錠できるものとし、任意に設定できるスケジュール機能を有するものとする。退館時はスケジュール機能により、自動ドアフォトリソ作動で退館できる時間帯と事務所内開錠ボタンで開錠を行い退館できる時間帯を設ける。
また、設定等の変更は、発注者の準備するパソコンで発注者自身に変更できるか、発注者からの依頼で受注者が行うものとする。
- ③インターホンのカメラ付玄関子機を母子エリア正面入口外部に設け、事務室内にモニター付親機(壁掛け)及びモニター付ワイヤレス子機を設け、両方ともにインターホンでの来訪者確認及び自動ドアの開錠を行えるものとする。

(4) インターホンシステム (母子)

- ①カメラ付玄関子機
- ②モニター付親機(壁掛け、SDカード入力あり)
- ③モニター付ワイヤレス子機

(5) 防犯カメラシステム (母子)

- ①カメラ台数 4台(屋外1台・屋内3台)
- ②有効画素数 約400万画素以上
- ③遠隔での画角・ピント調整機能があること
- ④赤外線照射距離 最大約20m以上

(6) デジタルレコーダー (母子)

- ①映像信号 AHDに対応すること
- ②記憶媒体 内臓HDD4TB以上
- ③録画モード 連続/モーション/スケジュール/緊急の録画設定があること。
- ④カメラ毎に画質・フレーム数の設定が可能であること。
- ⑤録画データをUSBメモリにコピーが可能であること。
- ⑥ビデオロストの異常信号を警備監視可能であること。

(7) モニター (母子)

21.5型以上のワイド液晶モニターで設置は壁掛けとする。

※母子エリアのカメラシステムは非常通報画像監視サービス及び画像監視

要請サービスに対応できるものとする。

(8) 防犯カメラシステム (養護)

- ①台数 11台 (屋外4台・屋内7台)
- ②有効画素数 約400万画素以上
- ③遠隔での画角・ピント調整機能があること
- ④赤外線照射距離 最大約20m以上

(9) デジタルレコーダー (養護)

- ①映像信号 AHDに対応すること
- ②記憶媒体 内臓HDD 4TB以上
- ③録画モード 連続/モーション/スケジュール/緊急の録画設定があること
- ④カメラ毎に画質・フレーム数の設定が可能であること
- ⑤録画データをUSBメモリにコピーが可能であること

(10) モニター (養護)

21.5型以上のワイド液晶モニターで設置は壁掛けとする

(11) 警報機器 (養護)

- ①1階の食堂・集会スペース窓、1階の廊下東端窓、廊下西端窓、廊下北端窓、2階の多目的ホールの窓へセンサーを設置し、事務室へ設ける主装置にて警戒の入り切りを行う。
- ②事務室、宿直室、食堂・集会スペース、多目的ホールで警報音にて発報を知らせる。また、センサーを設置する上記の区域毎でセンサー発報箇所の区域分けが可能なものとする。

以上